

情 報 公 開 文 書

研究の名称	近視性脈絡膜新生血管の光干渉断層血管撮影についての後ろ向き研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 眼科学 教授 林篤志
研究の概要	<p>【研究対象者】 2016年1月1日から2028年6月30日までの間に富山大学附属病院で近視性脈絡膜新生血管に対して光干渉断層血管撮影を用いて1ヶ月以上観察可能であった患者様。</p> <p>【研究の目的・意義】 強度近視眼では眼球が前後方向に伸展し変形します。この機械的な伸展によって、網膜と脈絡膜を隔てているブルッフ膜に亀裂が入ると、その亀裂を通過して脈絡膜から発生した新生血管が網膜を障害します。この新生血管は、光干渉断層血管撮影で描出することが可能です。しかし、まだその検討は十分ではなく、臨床診療における活用方法について十分には理解されていません。本研究では、富山大学附属病院で加療および経過観察されてきた近視性脈絡膜新生血管の患者様の、光干渉断層血管撮影の所見を解析し、再発の早期発見、日常診療への活用方法について検討することを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 患者さんの年齢、性別、発症から当院受診までの推定期間、治療術後前視力、眼軸長、球面度数、治療後合併症、網脈絡膜萎縮の進行について、電子カルテ情報および眼科外来に設置されている検査機械に保存されている画像を取得し検討します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2028年6月30日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会および医学雑誌で発表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	年齢、性別、発症から当院受診までの推定期間、治療術後前視力、眼軸長、球面度数、治療後合併症、網脈絡膜萎縮の進行について、統計学的処理を行い検討します。(他機関へは提供しません。)
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院、病院長、林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院、眼科学、教授、林篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。

電話 076-434-7363

E-mail ueda@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 眼科学、助教、コンサルボ上田朋子